

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時	令和7年8月6日（水）10時～11時	
場 所	藤井達吉現代美術館 多目的室B	
出席者	人数	20人
	碧南市	小池市長、危機管理課長
テーマ	防災対策（危機管理）について	

要旨

災害時の被害想定や防災対策について市長から資料説明をした後、防災対策についての意見交換を行った。

主な意見は以下の通り

- ・家族でも健康状態（持病や使用している薬など）については知らないことが多いため、緊急時に備え、グループLINEで共有している。備蓄品の情報も共有している。
- ・大浜には高台がないため、今後作成する建築物や工場の屋上を避難場所にするのはどうか。また、盛り土をすることで既存の公園も避難場所として活用できるのではないかな。
- ・夏場に震災で停電した場合、エアコンが使えなくなるが、その状態でどれくらい生活できるのか考えている。どんな対策ができるか、意見を出し合っても良いのではないかな。
- ・障がいを持つ人の避難先での過ごし方が不安。必要な時に支援を求められるように、近隣住民との日々のコミュニケーションが大切。様々な特性の子がいることを知ってもらう機会があると良い。
- ・地域の夏祭りで練習を兼ねて炊き出しをしている出店者がいた。普段から実施することでいざという時に取り組むことができる。
- ・自宅の備蓄品について、見直す必要があると感じた。避難所に避難するという考えを改める。安全であれば家が一番の避難所となる。自分のことは自分で守る。
- ・楽しみながら防災について学ぶ機会があると良い。
- ・企業版ふるさと納税を活用することで、防災用品を備えることができるため、取組みの1つとして考えてみるのも良いと思う。
- ・減災につながるため、小さい火を見つけたら消化してほしい。

（市長総括）

- ・これまでに経験したことを話し合うことが大切。
- ・対話をしていくことで新しく学ぶことができる。